

< 参 考 資 料 >  
2017年5月18日  
東京電力ホールディングス株式会社

# 福島第一原子力発電所 1号機 オペレーティングフロア調査の実施について

**TEPCO**

---

### ■ 背景

前回までの調査で、崩落屋根、天井クレーン、FHMの損傷状況、ウェルプラグのずれ等、ガレキ撤去計画の立案に有用な情報が取得できたが、新たに確認されたウェルプラグのずれへの対応を含め、安全にガレキ撤去を進める作業計画の立案のためには、更なるデータ蓄積・状態把握が必要

### ■ 調査内容

- ガレキ状況調査（ウェルプラグ（上段）および周囲、ドライヤ・セパレータピット（以下DSP）を、カメラおよび3Dスキャナで撮影する）
- 空間線量率測定（ウェルプラグ上）

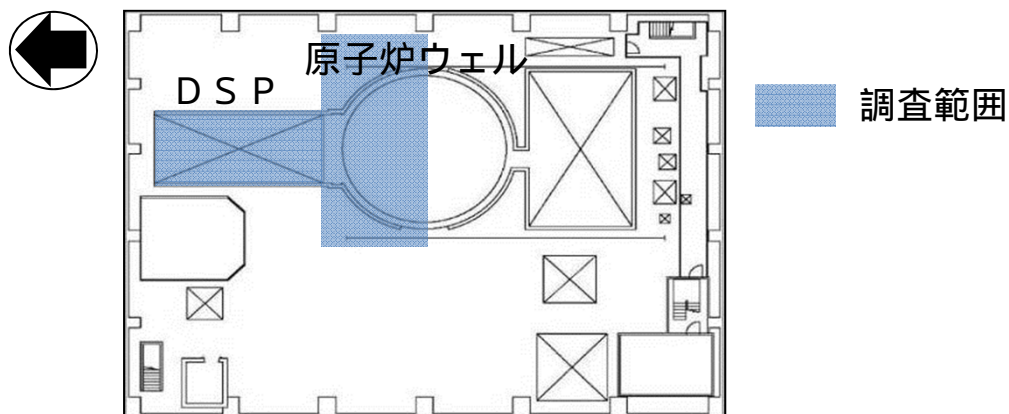
なお、本調査に支障となる小ガレキ（崩れた屋根のコンクリート、デッキプレート等）は、吸引・把持する

### ■ 調査範囲

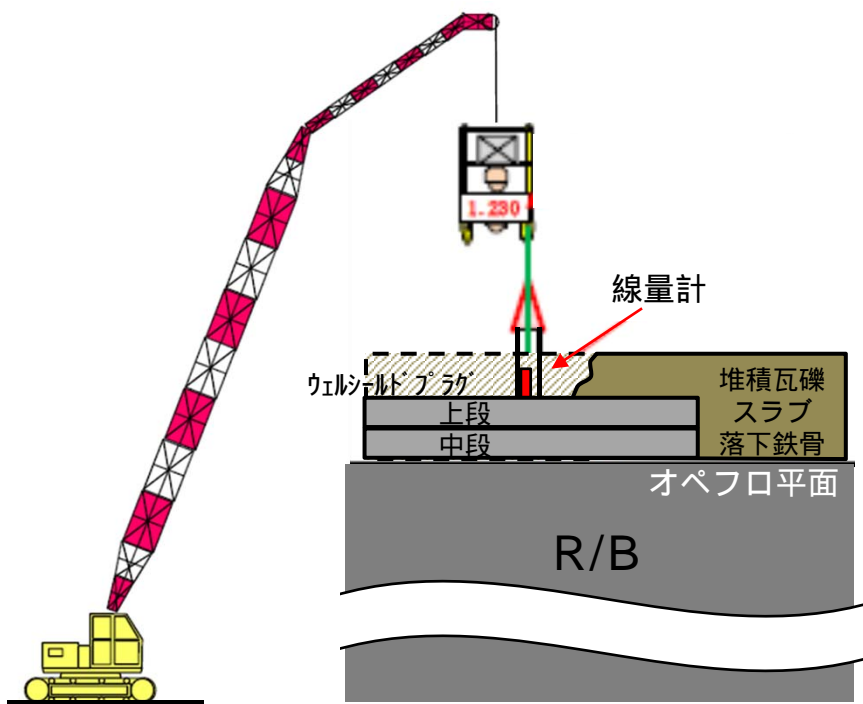
ウェルプラグ周囲や上部、DSPを対象に調査実施

### ■ 調査期間

2017年5月下旬から7月上旬にかけて調査実施



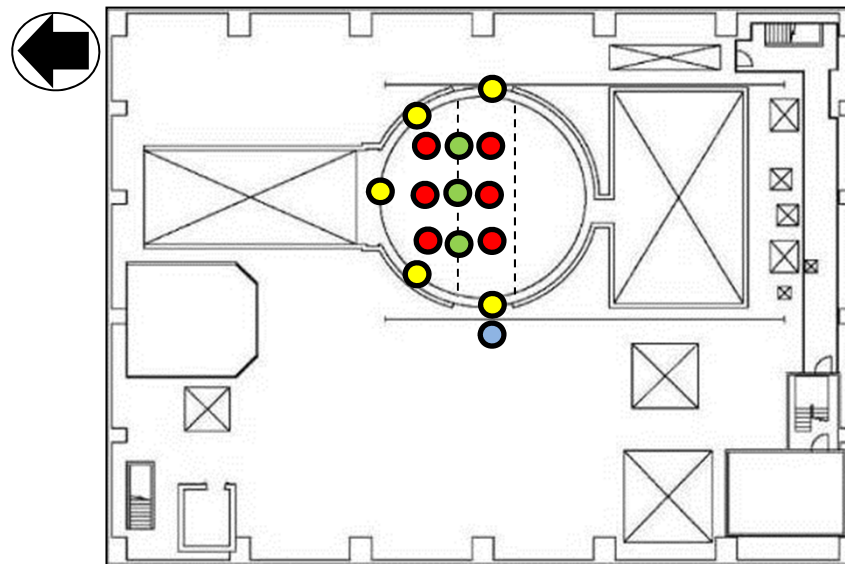
## ■ 調査イメージ



立面イメージ

### 【凡例】（測定箇所）

- ウェルプラグ上
- ウェルプラグ継ぎ目
- ウェルプラグ縁
- ウェルプラグ近傍



ガレキの干渉により測定箇所は変更する可能性がある

平面図

## 空間線量率測定（ウェルプラグ上）